

大学コンソーシアム富山 令和3年度「富山の地域づくり」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和3年度単位互換開講科目 「富山の地域づくり」
実施機関名	富山大学 大西 宏治（富山大学人文学部教授）
趣旨・目的	1. まちづくりが国や地方公共団体によって、多面的に取り組まれていることを理解すること。 2. 富山市の取り組むまちづくりについて、理解を深めること。
開催日時	令和3年8月18日（水）, 8月19日（木）, 8月20日（金）, 8月21日（土）
開催場所	Web 会議ツール「Zoom」による遠隔授業
参加人数	学生138名 【内訳】・富山大学（61名） ・富山高等専門学校（35名） ・富山県立大学（33名） ・高岡法科大学（8名） ・富山短期大学（1名）

事業内容

●第1日目 (8/18)

第1回 オリエンテーション

富山で活動する団体・企業の取り組み

第2回 立山黒部ジオパーク協会の取り組み (立山黒部ジオパーク協会)

第3回 富山県下のプロスポーツの取り組み (グラウジーズ・NEC ソリューションイノベータ)

第4回 ワークショップ事始め (ミニワークショップ1)

●第2日目 (8/19)

第5回～第9回

8:45～9:00 第1日目の振り返りと今日の予定の確認

9:00～10:00 富山市のコンパクトシティの取り組み
(中心市街地活性化推進課)

10:15～11:15 富山市のスマートシティ事業 (情報統計課)

11:30～12:00 富山市の課題確認 (1)

昼休み

13:00～14:00 富山市の観光政策とその課題 (観光政策課)

14:15～15:15 富山市の環境政策とSDGs (環境政策課)

15:30～16:30 未来共創：富山市のまちづくり (未来戦略室)

16:45～18:00 今日の振り返りと意見共有 (ミニワークショップ2)

●第3日目 (8/20)

第10回 富山のこれからを考えるワークショップ (1)

第11回 富山のこれからを考えるワークショップ (2)

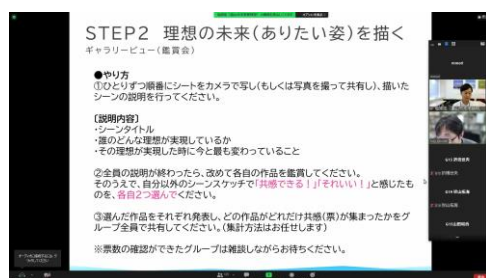
第12回 富山のこれからを考えるワークショップ (3)

第13回 富山のこれからを考えるワークショップ (4)

●第4日目 (8/21)

第14回 準備と発表会 (1)

第15回 発表会 (2)



※Zoom ミーティング等を利用した遠隔授業で実施。

大学コンソーシアム富山 令和3年度「航空機入門」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和3年度共同授業科目 「航空機入門」
実施機関名／ 担当教員	富山県立大学 担当教員：機械システム工学科 坂村 芳孝 教授
趣旨・目的	航空機のしくみや開発・生産等に関する講座を開講するもの。
開催日時	令和3年8月24日（火）10時30分～16時10分 8月25日（水）10時30分～16時10分 8月26日（木）10時30分～14時30分
開催場所	オンライン（Zoom）
参加人数	33名 （富山県立大学2名、富山大学18名、富山高等専門学校4名、一般2名、外部講師5名、担当教員1名、職員1名）
事業内容	航空機のしくみや開発、生産等、航空機の技術と製造に関わる幅広い知識を習得し、航空機製造業や航空機運送事業について理解を深める。 【8月24日（火）】 ①大空への挑戦から未来飛行機へ（10：30～12：00） ②飛行機構造設計（13：00～14：30） ③航空機部品生産の現場（14：40～16：10） 【8月25日（水）】 ④飛行の原理－揚力と抗力/宇宙ロケットの基礎（10：30～12：00） ⑤空気力学の基礎（13：00～14：30） ⑥飛行力学の基礎（14：40～16：10） 【8月26日（木）】 ⑦航空機に関する最新の研究トピック（10：30～12：00） ⑧エアラインにおける航空機の整備（13：00～14：30） <講師> ①④ 富山県立大学 戸田 信雄 客員教授 ② ダイヤモンドオフィスサービス株式会社名古屋ビジネスセンター 坂川 亨 センター長 ③ 株式会社石金精機 清水 克洋 代表取締役 ⑤⑥ 富山県立大学工学部機械システム工学科 坂村 芳孝 教授 ⑦ 富山大学工学部 松島 紀佐 シニアアドバイザー ⑧ 全日本空輸株式会社整備センター技術部 小林 宏至 担当部長

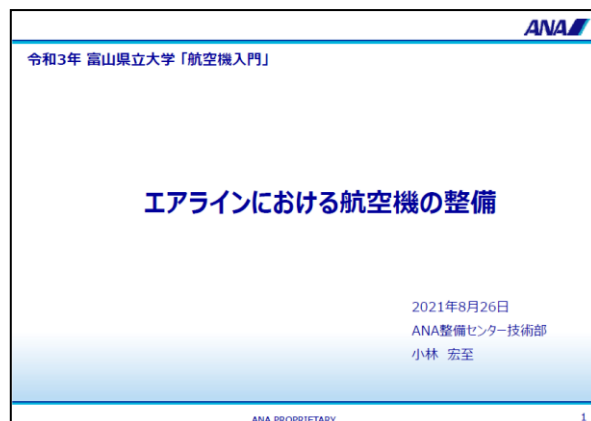
<講義資料> ※抜粋



8月24日（火）1限目「大空への挑戦から未来飛行機へ」



8月25日（水）2限目「空気力学の基礎」



8月26日（木）2限目「エアラインにおける航空機の整備」

大学コンソーシアム富山 令和3年度「ヒューマンセンシング概論」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和3年度共同授業科目 「ヒューマンセンシング概論」
実施機関名／ 担当教員	富山県立大学 担当教員：情報システム工学科 唐山 英明 教授
趣旨・目的	人間に関する情報を計測・解析する技術についての幅広い知識を習得する。ヒューマンセンシングに関する理解を深め、医療・福祉や看護などの分野を含めた様々な工学的応用事例を俯瞰する。
開催日時	令和3年8月26日（木）9時40分～17時00分 8月27日（金）9時40分～17時00分
開催場所	オンライン（Zoom）
参加人数	42名 （富山県立大学8名、富山大学3名、富山高等専門学校19名、一般2名、講師7名、担当教員1名、職員2名）
事業内容	行動や生体情報の計測技術、計測された情報の解析技術、さらにはそれらの応用事例について理解を深める。 【8月26日（木）】 ①ガイダンス／ヒューマンセンシング概論（9：40～11：10） （講師：富山県立大学工学部情報システム工学科 唐山 英明 教授） ②人間情報の計測のためのMEMS技術（1）（11：20～12：50） （講師：富山県立大学工学部知能ロボット工学科 塚越 拓哉 講師） ③人間情報の計測のためのMEMS技術（2）（13：50～15：20） （講師：富山県立大学工学部知能ロボット工学科 野田 聖太郎 講師） ④医療・看護・介護分野のセンシング（1）（15：30～17：00） （講師：富山県立大学工学部情報システム工学科 浦島 智 講師） 【8月27日（金）】 ⑤医療・看護・介護分野のセンシング（2）（9：40～11：10） （講師：富山県立大学工学部情報システム工学科 鳥山 朋二 教授） ⑥行動情報の計測とその応用（11：20～12：50） （講師：富山県立大学工学部知能ロボット工学科 佐保 賢志 講師） ⑦生体情報の計測とその応用（1）（13：50～15：20） （講師：富山県立大学工学部情報システム工学科 木下 史也 講師） ⑧生体情報の計測とその応用（2）／まとめ（15：30～17：00） （講師：富山県立大学工学部知能ロボット工学科 森重 健一 講師 情報システム工学科 唐山 英明 教授）

<講義資料> ※抜粋



8月26日(木) 1限目「ガイダンス／ヒューマンセンシング概論」



8月27日(金) 4限目「生体情報の計測とその応用(2)」

大学コンソーシアム富山 令和3年度「とやま地域学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和3年度共同授業科目「とやま地域学」
実施機関	富山国際大学（担当教員：助重雄久 富山国際大学 現代社会学部教授）
趣旨・目的	富山の歴史・文化、環境、産業の現状、立山連峰や富山湾に代表される富山の自然環境を学び、富山の特色を理解する。そして持続可能な社会、地域づくりを考え、未来の富山や世界の姿を展望する。
開催日時	令和3年8月30日(月)～9月2日(木)の4日間
開催場所	Zoomによる遠隔授業
参加人数	学生87名 【内訳】・富山大学15名 ・富山県立大学44名 ・高岡法科大学3名 ・富山高等専門学校12名・富山国際大学13名
事業内容	【令和3年度概要】 今年度の「とやま地域学」は、「富山の魅力と宝物の発見」をテーマとし、県内大学生の皆さんに富山をもっと知り、その魅力を発見してもらうことを目的に企画しました。 講師陣は富山在住の研究者・専門家を招聘し、「未来の富山について考える」、「富山の産業と生活について考える」、「富山の自然と歴史について考える」について解説いただき、富山の魅力と課題を理解し、アフターコロナ時代においても一人ひとりが輝く富山の地域づくりに参画できる人材の基礎力の育成を目指しました。終了後の学生評価はおおむね4点以上（5点満点）で好評でした。 【第1日目：8月30日(月)】 ①出席確認、通信状況確認（9:45～10:15） 学長挨拶 「とやま地域学」で学んで欲しいこと（10:15～10:30） （富山国際大学学長 高木 利久） ②授業ガイダンス・日程等に関する説明（10:40～12:10） （富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久） ③AI、デジタル化社会から見る富山（13:00～14:30） （富山国際大学現代社会学部教授 新森 昭宏） ④富山の観光とその未来ー北陸新幹線の敦賀延伸と黒部ルートの開通がもたらすものー（14:40～16:10） （富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久） 【第2日目：8月31日(火)】 ⑤データから見る富山の産業と生活（9:00～10:30） （富山地域学研究所所長（元富山国際大学教授）浜松 誠二 氏） ⑥朝日町の良さを活かした移住・定住促進（10:40～12:10） （朝日町住民・子ども課移住定住相談員 善田 洋一郎 氏） ⑦富山の農林水産業の新しい姿（13:00～14:30） （富山県副知事 横田 美香 氏） ⑧町家のリノベーションと地域活性化（14:40～16:10） （グリーンノートレーベル株式会社代表取締役 明石 博之 氏）

【第3日目：9月1日(水)】

⑨富山のくらしと水（9:00～10:30）

（富山国際大学名誉教授 尾畑 納子 氏）

⑩富山県の自然と歴史・未来－防災・基幹インフラ・産業・文化・環境・共生・人づくり－（10:40～12:10）

（消防庁消防大学校客員教授 石井 隆一 氏）

⑪北陸・富山の地形の特徴－扇状地や河岸段丘を中心に－（13:00～14:30）

（日本黒部学会顧問 國香 正稔 氏）

【第4日目：9月2日(木)】

⑫富山市街地の歴史をたどる（レクチャー）（9:00～10:30）

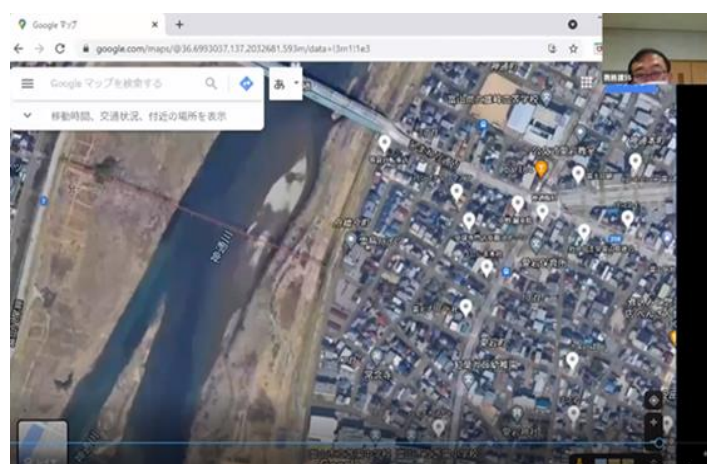
⑬富山市街地の歴史をたどる（バーチャルフィールドワーク）（10:40～12:10）

⑭富山市街地の歴史をたどる（ディスカッションと解説）（13:00～14:30）

（富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏）

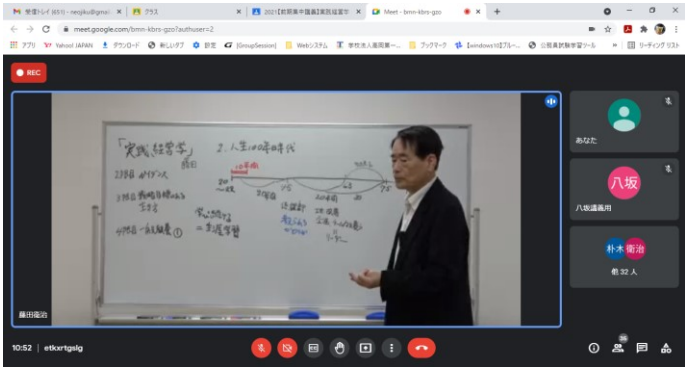
⑮まとめ、課題提出について（14:40～16:10）

（富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久）



Zoom ミーティングを利用した遠隔授業で実施

大学コンソーシアム富山 令和3年度共同授業科目
「実践経営学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和3年度共同授業科目 「実践経営学」
実施機関名	高岡法科大学 担当教員：法学部 朴木智司教授
趣旨・目的	経営学の「組織論」「戦略論」を主体に、将来のリーダーの役割を担う人材を育成する。「組織論」では、社会人基礎力を鍛えて、組織のマネジメントを実践するための学びとリーダーの素養を身に付けるためのリベラルアーツを学ぶ。「戦略論」では、経営計画とPDCAについて、事例研究から学ぶ。実践現場の経営トップの講義と有資格者の事例研究、グループ学習を取り入れた講義で構成する。
開催日時	令和3年8月30日（月）～9月2日（木）、6日（月）
開催場所	大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室 2 （ビデオ会議ツール「Google Meet」のオンライン授業）
参加人数	学生計39名：富山大学（4名）・富山高等専門学校（6名）・高岡法科大学（29名）
事業内容	第1回 ガイダンスー実践経営学とは何か 第2回 社会人基礎力とは何か、戦略目標のある生き方、リカレント教育と生涯学習 第3回 リベラルアーツ一般教養入門① 講師：オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏  第4回 伝統工芸と技術革新・デザイン、地方創生 講師：株式会社能作 代表取締役社長 能作 克治 氏 第5回 経営学入門 第6回 一般教養入門②自由課題 レポート提出 講師：オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏



第7回 伝統工芸の技術史—文明の交流と産業

講師：富山大学 名誉教授 三船 温尚 氏

第8回 ドラッカー マネジメント

講師：オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏

第9回 キャリアデザイン、女性活躍・働き改革(グループ学習)

講師：大門社会保険労務士事務所 社会保険労務士 大門 充子 氏



第10回 マーケティング・顧客管理、まちづくり

講師：株式会社大和 取締役富山店長 中崎 俊也 氏

第11回 コトラー マーケティング

講師：オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏

第12回 戦略ツール事例研究

講師：中山経営財務コンサル 中小企業診断士 中山 誠司 氏



第13回 持続性と企業経営 ～企業セクターの役割を考える～

講師：富山県民ボランティア総合支援センター 専務理事 村田 芳朗 氏

第14回 バーニー 資源ベースの戦略論

講師：オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏

第15回 実戦経営学まとめ

講師：オタヤ開発株式会社 社長 藤田 衛治 氏



以上

大学コンソーシアム富山 令和3年度「富山学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和3年度単位互換開講科目 「富山学」
実施機関名	富山大学 奥 敬一（富山大学芸術文化学部准教授）
趣旨・目的	・富山の自然基盤の成り立ちと現状について理解し、産業やまちづくりとのつながり、防災の重要性などについて理解を深める。 ・フィールドワークや地域のひとびととの対話を通して富山の歴史的・文化的な成り立ちと現状について理解し、住環境や生活にみられる富山の価値に対する理解を深める。 ・富山県が持っている世界や日本の中での独自性・固有性を活かして、富山の将来像について日常の中で意識的に考え、行動できるような態度を培う。
開催日時	令和3年9月7日（火）、9月14日（火）、9月21日（火）、 9月28日（火）
開催場所	Web 会議ツール「Zoom」による遠隔授業
参加人数	学生45名 【内訳】・富山大学（41名） ・富山県立大学（4名）

事業内容	< 1 ～ 3 回 9 月 7 日（火） 2 限～ 4 限 > 1. ガイダンス 講義全体の進め方、成績評価等についての解説 世界の中の富山、日本の中の富山：富山県の基礎情報 現地見学の注意事項 2. 富山の自然基盤（水循環） 立山連峰から富山湾に至る大きな水循環について理解し、富山の産業や生活と深く関わっていることを学ぶ 3. 富山の自然基盤（植生） 過去から現在にわたる富山の自然植生の変化と現況について解説し、緑地がグリーンインフラとして生活・住環境の維持に果たしてきた役割について理解する < 4 ～ 7 回 9 月 1 4 日（火） 1 限～ 4 限 > 4. 統計からみた富山 「とやま統計ワールド」の情報をもとに富山県の特徴を理解する 5. 富山の生活文化（扇状地の生活文化） 砺波平野の散居村、黒部川扇状地の生活文化 6. 富山の生活文化（世界遺産としての価値） 世界文化遺産とは。五箇山の世界遺産としての価値 7. 世界遺産を維持するための取り組み 外部の人々と協働による観光振興 外部講師：五箇山自然文化研究会・荒井 崇浩 < 8 ～ 1 1 回 9 月 2 1 日（火） 1 限～ 4 限 > 8. 富山の自然基盤（立山連峰） 立山山系の地形的な特徴とその社会との関わりについて解説する 9. 富山の自然の保全 立山の自然の保全の実態や、自然環境と両立する観光のあり方、さらに自然保護に関係する仕事について学ぶ 外部講師：環境省立山管理官事務所国立公園管理官・西田 樹生 1 0. 富山の自然基盤（生物多様性） 富山の自然環境と社会文化の相互作用が織りなす生物多様性について解説し、住環境や食文化との関係について理解する 1 1. 富山の自然基盤（総括） 富山の自然基盤についてのグループディスカッションを通して、富山の特徴を生かしたライフスタイルとは何かを検討する。
------	---

< 12～15回 9月28日（火）1限～4限 >

12. 富山の歴史と文化（生活文化の景観）

富山の自然環境と社会文化の相互作用が織りなす生物多様性について解説し、住環境や食文化との関係について理解する

13. 富山の歴史と文化（山の文化と信仰）

立山山系と白山山系の両霊山を擁する富山には、信仰を背景とした多様で奥深い山村生活の文化が根付いている。富山の基層に流れる山の文化について解説する。

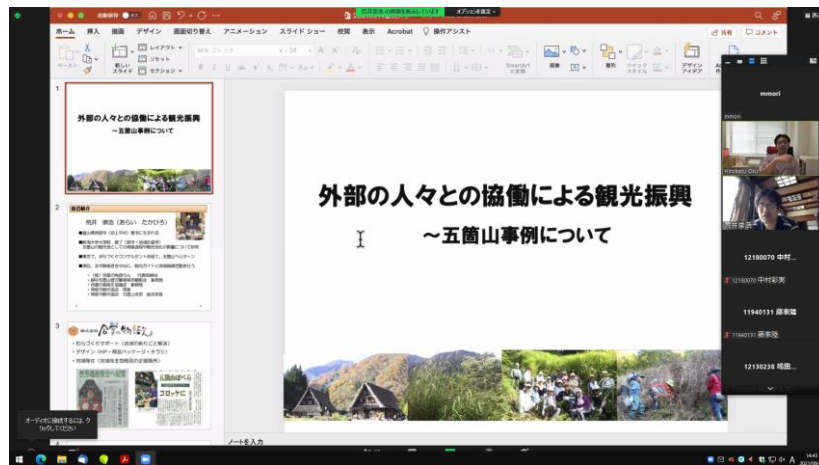
14. 富山の歴史と文化（海の文化とネットワーク）

日本海に面した富山は海を通して他地域ともつながりあってきた。そのネットワークは国内はもちろん海外にもつながっている。富山の生活や産業を支えてきた外の世界とのネットワークについて解説する。

15. 総括

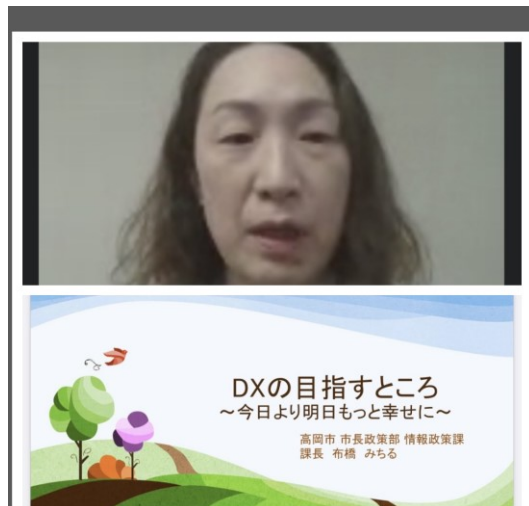
フィールドワークにもとづくディスカッションと「富山学」のまとめ

9月14日（火）外部講師による講義



大学コンソーシアム富山 令和3年度共同授業科目
「現代社会と法」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和3年度共同授業科目 「現代社会と法」（デジタル社会の法律問題）
実施機関名	高岡法科大学 担当教員：法学部 荒邦啓介講師
趣旨・目的	今日の世の中を「デジタル社会」として説明することについては、ほぼ異論を見ないであろう。AI、ビッグデータ、自動車の自動運転技術、デジタル・トランスフォーメーション（DX）など、「デジタル社会」を特徴づける多くの技術や概念が、日々生まれ、更新されている。この展開は、恐らく人類史において、不可逆的なものであり、常に新たな問題をも提起し続けていくに違いない。そこで本講義では、デジタル社会における法の問題をさまざまな視点からとらえ、考えていくことで、現代社会と法のこれからの探りたい。
開催日時	令和3年8月23日（月）～8月27日（金）
開催場所	高岡法科大学 （ビデオ会議ツール「Google Meet」のオンライン授業）
参加人数	学生計79名：富山大学（4名）・富山県立大学（17名）・富山高等専門学校（2名）・高岡法科大学（56名） （県の警戒レベル（ステージ3）の影響で一般受講の中止）
事業内容	第1回 サイバー法概論 講師：新潟大学法学部 助教 須川 賢洋 氏 第2回 ドイツ行政法におけるデジタル化、その諸問題 第3回 dea ex machinis——デジタル・社会を法哲学的に考える 講師：明治大学 法と社会科学研究所 客員研究員 植田 俊太郎 氏  第4回 DXの目指すところ——今日より明日もっと幸せに 講師：高岡市 市長政策部情報政策課 課長 布橋 みちる 氏 第5回 「ネットいじめ」と法——現状と法対策 第6回 「ネットいじめ」と法——アメリカにおける法と判例 講師：兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 特任教授 今出 和利 氏



第7回 デジタル庁創設で目指すデジタル社会

講師：内閣官房・内閣府 内閣参事官・平井大臣室 室長 浅岡 孝充 氏

第8回 デジタル社会と個人情報保護法制 2000 個問題解消（公民一元化）

第9回 個人情報保護法令和3年改正の概要

講師：新潟大学法学部 教授 鈴木 正朝 氏



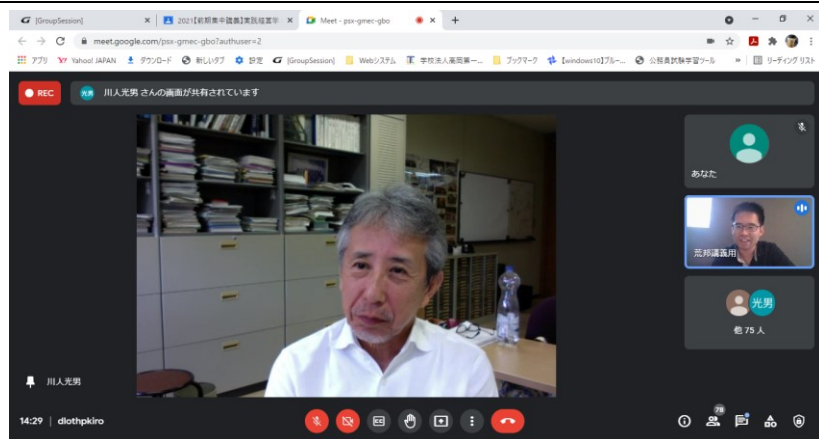
第10回 インターネットを通じた誹謗中傷とその救済

講師：兼六法律事務所 弁護士 森長 大貴 氏

第11回 脳科学とメンタルヘルス（1）

第12回 脳科学とメンタルヘルス（2）

講師：国際電気通信基礎技術研究所脳情報通信総合研究所
所長 川人 光男 氏



第 13 回 インターネット取引と民法

講師：高岡法科大学法学部 講師 渡部 朗子 氏

第 14 回 新しいけど古いもの——自動運転は誰に責任を求めるか？

第 15 回 硬さと柔らかさ——法はデジタル化されるか？

講師：甲南大学法学部 准教授 橋口 祐介 氏



・レポート指導：高岡法科大学法学部 講師 荒井 啓介 氏

大学コンソーシアム富山 2021 年度「とやまの食文化」実施報告

事業名	単位互換科目 共同授業科目「とやまの食文化」
実施機関名	富山短期大学 担当教員：食物栄養学科 中根一恵講師
趣旨・目的	「食の宝庫」といわれる富山県が、先人の知恵により育んできた食文化について、地形や自然環境を学習する。富山県各地域の農産物や魚の特徴と昆布料理の実習や、昆布の種類や天然と養殖の違いを実感することを通じてとやまの食文化を体験し、富山県各地域の農産物や食文化の再発見につなげる。とやまの食の魅力を知り、「伝統的な地域（とやま）の食文化を次世代にどのように伝えていったらよいか」をテーマにワークショップ形式により意見交換を行い発表し、「とやまの食文化」について知識や理解を深めることを目的とする。
開催日時	令和3年9月6日(月)、8日(水)、9日(木) 3日間集中授業 6日：9時10分～16時20分 8日：9時10分～14時40分 9日：9時10分～10時40分
開催場所	オンライン形式(zoom)
参加人数	(1)参加学生 38名(受入れ許可41名) 富山大学14名(欠席者3名含む) 富山県立大学8名 富山高等専門学校3名 富山短期大学16名 (2)教員(講師)6名 富山短期大学5名 外部講師1名 (3)職員 3名 富山短期大学(事務業務)3名
郵送資料	資料 1. 履修する際の諸注意 2. シラバス 3. WEB シラバスの手引き 4. 冊子「とやまの食文化」 5. 食材など 昆布4種(A～D)、米、とろろ昆布(白、黒) こぶ締め用昆布、梅干し、手袋
	第1回 「ガイダンス・食文化総論」 講師：富山短期大学 半田彩実 講師 食文化とは何なのか、日本と世界の食料を比較しながら、日本食の特徴をつかんだ。また、食文化を構成する要因を知り、比較の方法についても学ぶことで、今後の講義に繋がる内容をお話いただいた。 

第2回 「とやまの魚、そのおいしさの秘密と健康性」

講師：富山短期大学 竹内 弘幸 教授

富山湾の特徴と富山湾に生息する様々な魚についての講義では、竹内先生が研究をされているホタルイカの研究内容を交えた内容で、とやまの魚のおいしさや健康性について科学的にも詳しくお話しいただいた。

第3回 「富山の昆布食文化」

講師：株式会社四十物昆布 会長 四十物直之氏

昆布の消費量が長らく全国一位であった富山県の昆布文化について、富山は北前船の寄港地の1つであり、北海道でとれた昆布が運ばれてきたことなど、歴史的背景からお話しいただいた。

第4回 「昆布の種類と製造方法」

講師：株式会社四十物昆布 会長 四十物直之氏



昆布には8つの種類があり、料理によって使い分けることでおいしくいただけること、養殖と天然での特徴の違いなどについて実物を用いながら説明いただいた。おぼろ昆布ととろろ昆布の違い、削る際の厚みなどについても詳しく学ぶことができた。

第5回 「とやまの郷土料理」

講師：富山短期大学 稗苗 智恵子 教授

中根 一恵 講師

とやまの郷土料理について、富山県の成り立ち、地形や歴史、文化的背景から食の特徴を深めるとともに、食の大切さについてのお話をいただいた。

昆布と魚を使った料理として、「昆布巻き」「おぼろ昆布のすまし汁」、旬の食材を使用した料理として「よごし」「酢ずいき」「ずいきの白和え」の作り方を説明した。また、食材の紹介として、そうめん南瓜、五箇山豆腐、庄川のゆずを紹介した。昨日講義をうけた昆布について、A～Dの昆布を事前に郵送し、触ったり、見たり、水につけてだしを飲み比べするなどして違いを観察した。



そうめん南瓜、ゆず
五箇山豆腐

ずいき

昆布巻き

とやまの郷土料理講義風景

昆布の違いを体験：昆布を触る・見る、水につけて昆布水を飲み比べてみる。



第6回 「とやまの米や昆布を用いた料理(調理実習)」

講師：富山短期大学 半田 彩実 講師
中根 一恵 講師

事前に郵送した食材を用いて「こんぶおにぎり」「昆布じめ」の実習を行った。カメラ越しではあったが、手元カメラを使用しながら示範を実施した。示範終了後に疑問点を聞いたのち、各家庭で調理実習を行ってもらった。指定の時間になったら、出来上がりの様子をカメラに映してもらい意見交換を行った。



写真上：さすの昆布じめ
写真下：昆布おにぎり（白・黒）



調理風景

とろろ昆布おにぎり：富山でおにぎりといえば、とろろ昆布のおにぎりのこと。とろろ昆布は、昆布を重ねて薄くスライスしたもので、黒とろろと白とろろがある。それぞれの味の違いを味わってもらった。

昆布じめ：魚の刺身を昆布ではさんだもので、魚のうまみ成分と昆布のうまみ成分の相乗効果で味わい深くなる。市販品ではさすが使用されていることが多いが、今回は学生自身のはさむ食材を選び、昆布じめにしてもらった。翌日、何を昆布じめにしたのか、味の感想を述べてもらった。

第7回 「昆布と健康」

講師：富山短期大学 藤田 恭輔 准教授

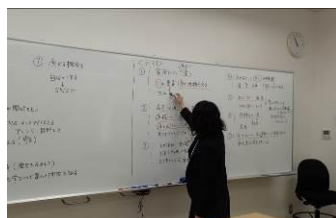
調理実習でつくった昆布じめの昆布を食べるとどのような効果があるのか、昆布に含まれる栄養素、機能性成分について詳しくお話いただいた。

第8回 ワークショップ「次世代伝え継ぐ とやまの食文化」

講師 富山短期大学 稗苗 智恵子 教授
半田 彩実 講師
中根 一恵 講師

第1回から第7回の学んだことをもとに、意見を出し合って次の2点について各自意見を考え、意見交換を行った。

- ① とやまの食文化の魅力とは
- ② 「伝統的なとやま(地域)の食文化を次世代にどのように伝えたらよいか」、あなた自身はどのような手段で発信したいか、グループでまとめてみましょう。



<受講生の感想>

- ・昆布と健康についての講義が印象に残った。昆布は体によいといわれてもどうして体によいのか、どのくらい食べるとよいのか疑問があった。昆布に含まれる栄養素の種類や量、その効果について詳しく解説していただいたので疑問が解決した。
- ・とやまの食文化に関して知らなかったことや知っていても興味がなかったことについて興味がわいたと同時に、この食文化を伝えていくのは自分だという自覚が生まれたよい機会だった。
- ・他大学の学生が集まって授業をしているのが魅力的だった。本来は直接会って調理実習などで交流を深めたかったが、リモートになってしまいいながらも、3日間の授業で食文化を次世代に伝えていくにはどうしたらよいのかをディスカッションしていく形で交流ができたのでよかった。
- ・初めは富山の食文化の魅力を簡単にでも知れたらなと思い参加したが、講義を受けてこれから富山の食文化をどのように守り伝えていくかというところまで考えることができた。
- ・毎日当たり前のようにあらゆる食材を食べている私たちも、ある食材の背景や良さを知らうとする意識を持つべきだと考えるきっかけとなった。
- ・初めてオンラインでワークショップをして、実際にグループで話し合い、それぞれの意見を聞き自分では思い浮かばないような意見がたくさん聞くことができ良かったです。改めて意見を出し合い聞くことは大事なことでと思います。

大学コンソーシアム富山 令和3年度「人生100年時代論」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目 「人生100年時代論」
実施機関名／ 担当教員	富山短期大学 担当教員：健康福祉学科 小平達夫准教授
趣旨・目的	「食と健康」、「子育てと社会」、「AI時代の働き方」等を切り口に、本学が蓄積する「食と健康」「保育と子育て」「情報と経営」「福祉と介護」に関する教育・研究の実績知を活用し、各講師が専門領域から現状と課題を分析する。また、富山県内で地域おこし協力隊として活動している方を招聘し、ワークショップを開催することで、受講生が「人生100年時代」を豊かに生き抜くための柔軟で多様なライフプランを受講生が構築できるようになることを目指す。
開催日時	令和3年9月15日（水）9：10～14：40 16日（木）9：10～12：20 17日（金）9：10～14：40
開催場所	富山短期大学 ZOOM 開催
参加人数	令和3年9月15日（水）9：10～14：40 （学生：20名 富山大学11名、富山県立大学1名、富山高等専門学校2名、富山短期大学6名、教員：4名） 令和3年9月16日（木）9：10～12：20 （学生：20名 富山大学11名、富山県立大学1名、富山高等専門学校2名、富山短期大学6名、教員：3名） 令和3年9月17日（金）9：10～14：40 （学生：20名 富山大学11名、富山県立大学1名、富山高等専門学校2名、富山短期大学6名、外部講師：2名、教員：1名）
事業内容	「人生100年時代」の到来が叫ばれる昨今において、従来の「教育⇒就職・仕事⇒定年・引退」という人生モデルが大きく変容しようとしている。本講座は、富山県に在住する若者が地域の魅力を捉えなおし、多様な生き方に触れ、自らのライフシフトを選択していく機会となる基礎講座と位置付ける。

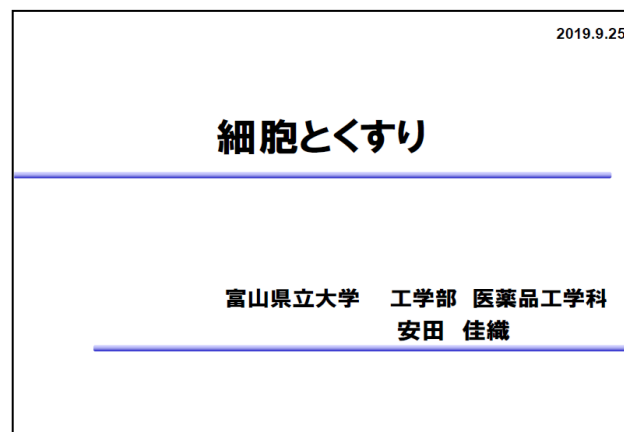
大学コンソーシアム富山 令和3年度「富山とくすり」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和3年度共同授業科目 「富山とくすり」
実施機関名／ 担当教員	富山県立大学 担当教員：医薬品工学科 中島 範行 教授
趣旨・目的	薬の歴史や働き、製造、開発に関する講座を開講するもの。
開催日時	令和3年9月27日（月）9時40分～17時00分 9月28日（火）9時40分～17時00分
開催場所	オンライン（Zoom）
参加人数	56名 （富山県立大学22名、富山大学25名、講師7名、担当教員1名、職員1名）
事業内容	くすりの歴史、製造、開発に関わる幅広い知識を習得し、くすりの働き（剤形、DDS、作用機序等）について理解を深める。 【9月27日（月）】 ①ガイダンス/くすりの歴史と現状（9：40～11：10） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 中島 範行 教授） ②有機化学でくすりを作る（11：20～12：50） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 小山 靖人 教授） ③診断と創薬のための分析化学（13：50～15：20） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 大坂 一生 准教授） ④くすりのかたちと投与（15：30～17：00） （講師：神戸学院大学 福森 義信 名誉教授） 【9月28日（火）】 ⑤遺伝子とくすり（9：40～11：10） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 古澤 之裕 准教授） ⑥細胞とくすり（11：20～12：50） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 安田 佳織 講師） ⑦バイオ医薬品の製造と開発（13：50～15：20） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 河西 文武 講師） ⑧医療デバイスと微細加工（15：30～17：00） （講師：富山県立大学工学部医薬品工学科 竹井 敏 教授）

<講義資料> ※抜粋



9月27日（月）1限目「ガイダンス/くすりの歴史と現状」



9月28日（火）2限目「細胞とくすり」

大学コンソーシアム富山 令和3年度「時事的問題」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和3年度単位互換開講科目 「時事的問題」
実施機関名	富山大学 高山 龍太郎（富山大学経済学部教授）
趣旨・目的	（１）日本社会が抱える各分野の課題について理解すること （２）それらを踏まえて、将来自分が何をなすべきか、社会の課題と関連させて自分を位置づけること （３）そのための第一歩として、大学在学中に何をしたら良いか、具体的に目標を定めること
開催日時	令和3年9月17日（金）、9月22日（水）、9月23日（木）、 9月24日（金）、9月25日（土）
開催場所	Web 会議ツール「Zoom」による遠隔授業
参加人数	学生 85名 【内訳】・富山大学（64名） ・富山県立大学（6名） ・高岡法科大学（6名） ・富山高等専門学校（9名）
事業内容	< 1日目 9月17日（金） > （講師：デジタルビジネスイノベーションセンター共同設立者、株式会社HI3代表取締役社長・西野弘，大学経営コンサルタント・佐藤真悟） 第1回（4限）今我々はどのような時代に生きているのか？ 第2回（5限）日本がなぜ不安が大きな社会になってしまったのか？ 日本人として今考えるべきこと。 < 2日目 9月22日（水） > （講師：佐藤真悟） 第3回（4限）自らが考える価値基準を持つ意味 第4回（5限）大学での学修成果の把握とコンサルティング < 3日目 9月23日（木） > （講師：老人介護ホーム，株式会社舞浜倶楽部代表取締役・グスタフ・ストランデル，西野弘） 第5回（2限）学生と講師とのパネルディスカッション 第6回（3限）日本の少子高齢社会における家族と社会の役割 1 第7回（4限）日本の少子高齢社会における家族と社会の役割 2

< 4 日 目 9 月 2 4 日 (金) >

第 9回 (2限) IT からデジタルテクノロジー社会へ

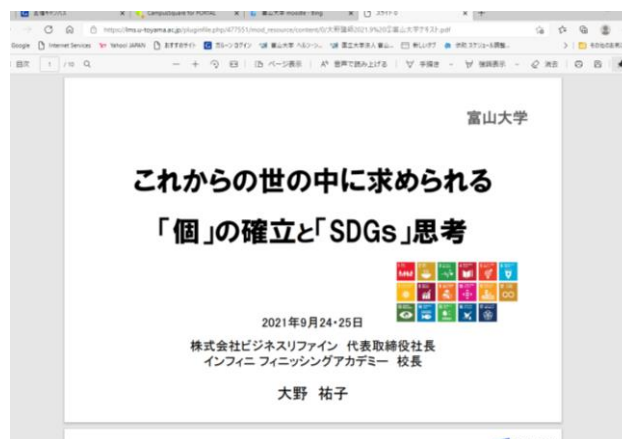
第11回（4限）これからの時代のキャリア形成

第12回（5限）SDGsを通じて、社会変革への参加意義を学ぶ

(講師：西野弘，横塚裕志，大野祐子，高山龍太郎)

第14回（3限）学生と講師とのパネルディスカッション

第15回（4限）課題レポートの作成



大学コンソーシアム富山 令和3年度「データサイエンスへの道」実施報告

事業名	単位互換 共同授業科目 「データサイエンスへの道」
実施機関名／ 担当教員	富山大学 栗本 猛（富山大学 学術研究部教養教育学系 教授）
趣旨・目的	文系・理系を問わず，全ての大学生に必要とされているデータサイエンス初級レベルの素養を身につける。
開催日時	令和3年9月6日（月），9月7日（火），9月8日（水）
開催場所	Web 会議ツール「Zoom」による遠隔授業
参加人数	学生19名 【内訳】・富山大学（10名） ・富山県立大学（3名） ・富山短期大学（1名） ・富山高等専門学校（5名）
事業内容	●第1日目（9/6） 第1回 データサイエンスの役割と応用 第2回 データの取得，管理，入手方法，分析について ●第2日目（9/7） 第3回 データ分析の基礎 ーデータとグラフ（ヒストグラム，箱ひげ図，散布図） ー2つの量の関係（相関係数，回帰直線） 第4回 Excel を用いたデータ分析-1 第5回 Excel を用いたデータ分析-2 ●第3日目（9/8） 第6回 Python 超入門 第7回 Python によるデータ分析-1 第8回 Python によるデータ分析-2

大学コンソーシアム富山 令和3年度単位互換開講科目
「災害救援ボランティア論」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和3年度単位互換開講科目 「災害救援ボランティア論」
実施機関名	富山大学 奥寺 敬（富山大学客員教授 附属病院先端危機管理医学）
趣旨・目的	災害救援ボランティア育成のカリキュラムをコアに，富山県の災害と防災対策，富山大学の研究者による独自の研究内容などを加えて，地域防災においてリーダーシップを発揮できる人材となるための学修を提供する。
開催日時	令和4年2月9日（水），10日（木），14日（月），15日（火） 16日（水）
開催場所	Web 会議ツール「Zoom」及び動画配信による遠隔授業
参加人数	学生 59 名 【内訳】・富山大学（33名） ・富山県立大学（22名） ・高岡法科大学（4名）

事業内容	2月9日（水） 第1回 災害救援ボランティアと危機管理医学 （富山大学客員教授 附属病院先端危機管理医学 奥寺 敬 氏） 第2回 災害ボランティア活動の基本 （災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野 次郎 氏） 第3回 被災地での安全衛生とコミュニケーション （災害救援ボランティア推進委員会防災教育部長・社会福祉士 宮崎 賢哉 氏） 第4回 災害時のリーダーシップとチームビルディング （災害救援ボランティア推進委員会防災教育部長・社会福祉士 宮崎 賢哉 氏） 2月10日（木） 第5回 災害時に求められるケア （富山大学大学院医学薬学研究部（看護学） 伊井 みず穂 氏） 第6回 災害時の医療救援活動 （富山大学大学院医学薬学研究部准教授 若杉 雅浩 氏） 2月14日（月） 第7回 富山県の防災対策 （富山県防災・危機管理課地域防災班長 前山 巖 氏） 第8回 地形図から災害を予測する （富山大学人文学部教授 大西 宏治 氏） 第9回 防災机上訓練 DIG 洪水ハザードマップの活用 （富山大学人文学部教授 大西 宏治 氏） 2月15日（火） 第10・11回 普通救命講習（心肺蘇生とAEDについて） 救命救急講習会中止により動画視聴・課題提出により実施 2月16日（水） 第12回 自然について学び・深めて災害対策 （富山大学都市デザイン学部准教授 安江 健一 氏） 第13回 大学における災害対策 （富山大学都市デザイン学部准教授 安江 健一 氏）
------	---

第14・15回

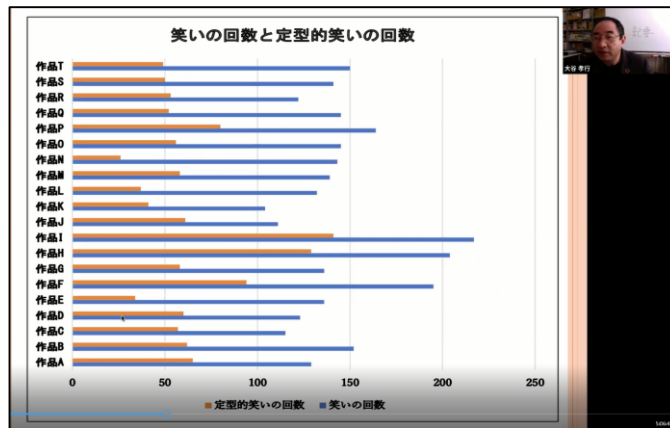
- ・訪問するジオサイトを学ぶ方法
- ・神通川の流路変更とますずしを学ぶ
＜神通川のフィールドワーク＞

（富山大学人文学部教授 大西 宏治 氏）

四季防災館見学中止により、動画視聴・課題提出により実施

大学コンソーシアム富山 令和3年度「教養特別講座」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和3年度共同授業科目「教養特別講座」
実施機関	富山国際大学（担当教員：大谷孝行 富山国際大学 現代社会学部教授）
趣旨・目的	本講座では人間の笑いを様々な側面から考察し、笑いの特徴や奥深さについて理解するとともに、ままならぬ人生を前向きに前進する力を身につける。
開催日時	令和4年2月21日(月)・22日(火)・24日(木)・25日(金)の4日間
開催場所	Zoomによる遠隔授業
参加人数	学生31名 【内訳】・富山大学18名 ・富山県立大学1名 ・富山短期大学8名 ・富山国際大学4名
事業内容	【令和3年度概要】 Zoom ミーティングを利用した遠隔授業で実施 【第1日目：2月21日(月)】 (講師：富山国際大学現代社会学部教授 大谷孝行) ①本講座の概要説明、笑いを「笑いの理論」から理解する (9:00～10:30) ②日本の芸能の理解を深める(1) (10:40～12:10) ③日本の芸能の理解を深める(2) (13:00～14:30) ④1日目の総復習 (14:40～16:10) 【第2日目：2月22日(火)】 (講師：富山国際大学現代社会学部教授 大谷孝行) ⑤日本の芸能の理解を深める(3) (9:00～10:30) ⑥大阪の笑いに学ぶ(1) (10:40～12:10) ⑦人生におけるピンチと笑いについて考える (13:00～14:30) ⑧2日目の総復習 (14:40～16:10)



【第3日目：2月24日(木)】

(講師：富山国際大学現代社会学部教授 大谷孝行)

- ⑨映画『男はつらいよ』に学ぶ人生観(1) (9:00～10:30)
- ⑩映画『男はつらいよ』に学ぶ人生観(2) (10:40～12:10)
- ⑪「老いと笑い」について考える (13:00～14:30)
- ⑫「老いと笑い」について考える (14:40～16:10)

「老い」の再定義

- ①常識や予想を見事にくつがえす笑いの神髄を自然に発揮する人
- ②間違いや失敗の体験を、ときにはその自覚さえも乗り越えてしまい、見事に克服する人
- ③現代の至上価値とされるスピードと効率性に敢然と立ち向かい、己の信条とするスローペースとゆとりを対峙させる人

【第4日目：2月25日(金)】

(講師：富山国際大学客員准教授 斎藤敏子)

- ⑬「マナーとしぐさ」とコミュニケーション① (9:00～10:30)
- ⑭「マナーとしぐさ」とコミュニケーション② (10:40～12:10)
- ⑮「マナーとしぐさ」とコミュニケーション③ (13:00～14:30)

第一印象の重要性

- ・人の印象はどこからくるか
- ・第一印象 (秒～ 分)
- ・アルバート・メラビアン
 - 言語()%、声の印象()%、見た目()%
- ・挨拶の意味と効果の重要性・ポイント
 - ①目を見る(相手の存在証明)
 - ②積極的に(声の大きさ)
 - ③先手必勝
 - ④相手に合った挨拶を